

型紙屋NavyPlus
 トールネックオーバードレス
 プリーツアレンジ案

まずは後身頃のフレア分量を畳んでストレートシルエットに戻しておきます

①ヨーク切り替え線を7等分する

②7等分のうち、後中心側の1か所を除いてa-b,b-c,c-d間をそれぞれ直線でつなぐ(赤線)

③b,c位置で赤線に対して直角に切り替え線を入れる

④a'位置から後中心線に対して直角に線を入れる(青線)

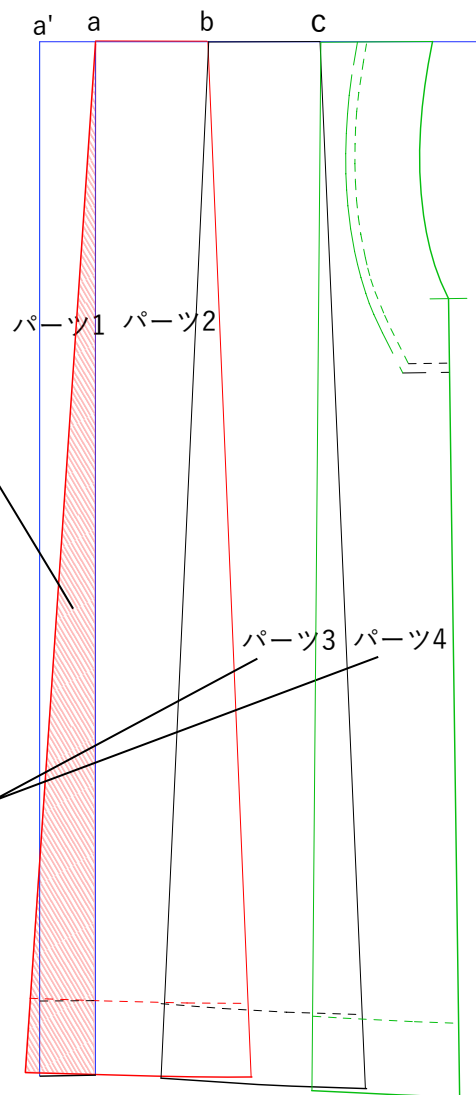
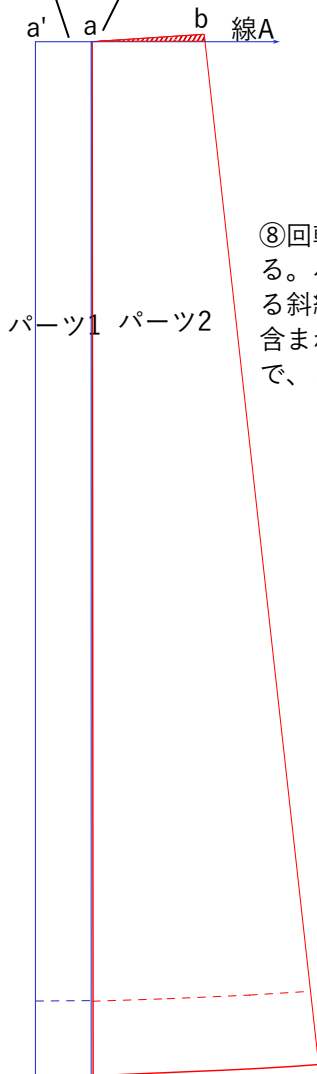
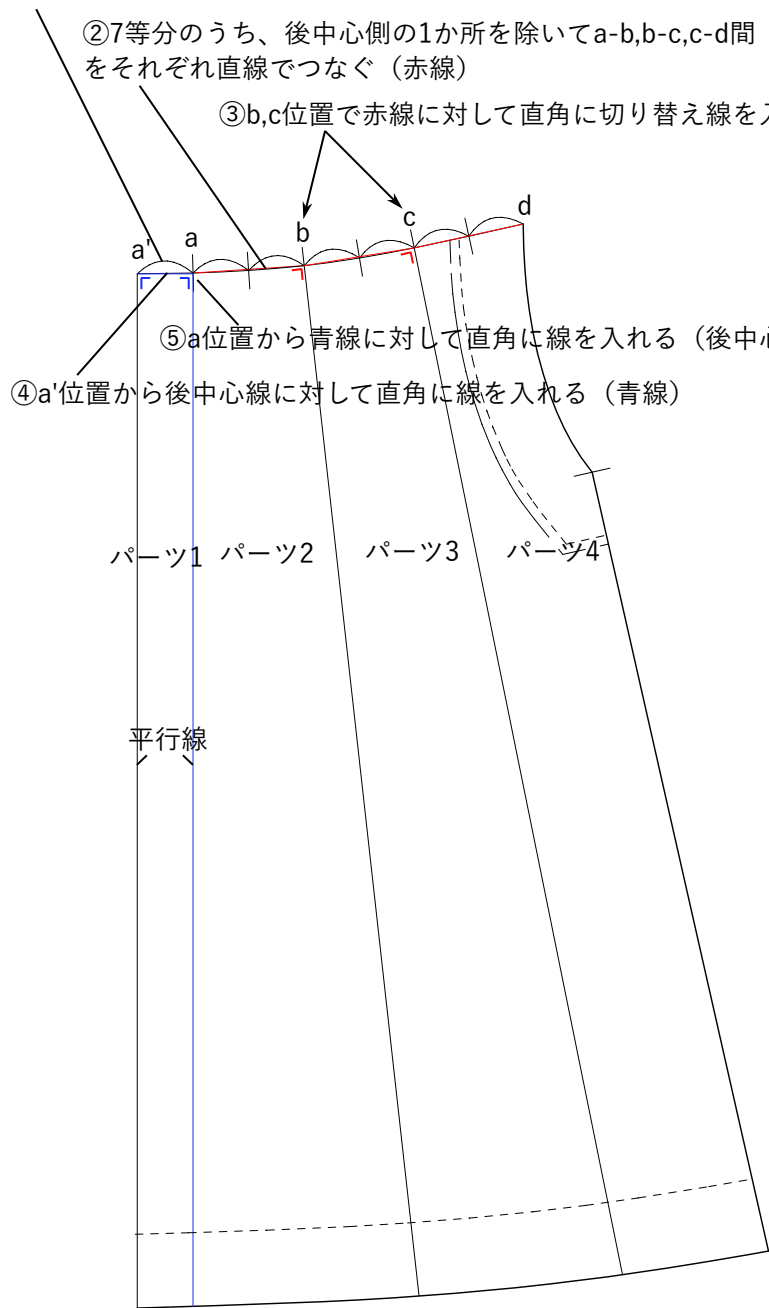
⑤a位置から青線に対して直角に線を入れる(後中心線と平行)

⑥a'-a間の線を延長する(線A)

⑦a位置を起点として、線a-bが線Aと平行になるまで回転させる

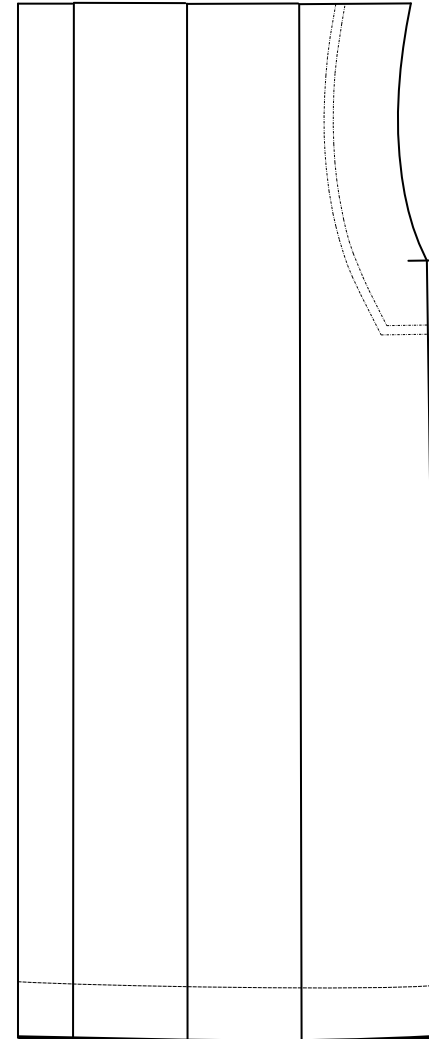
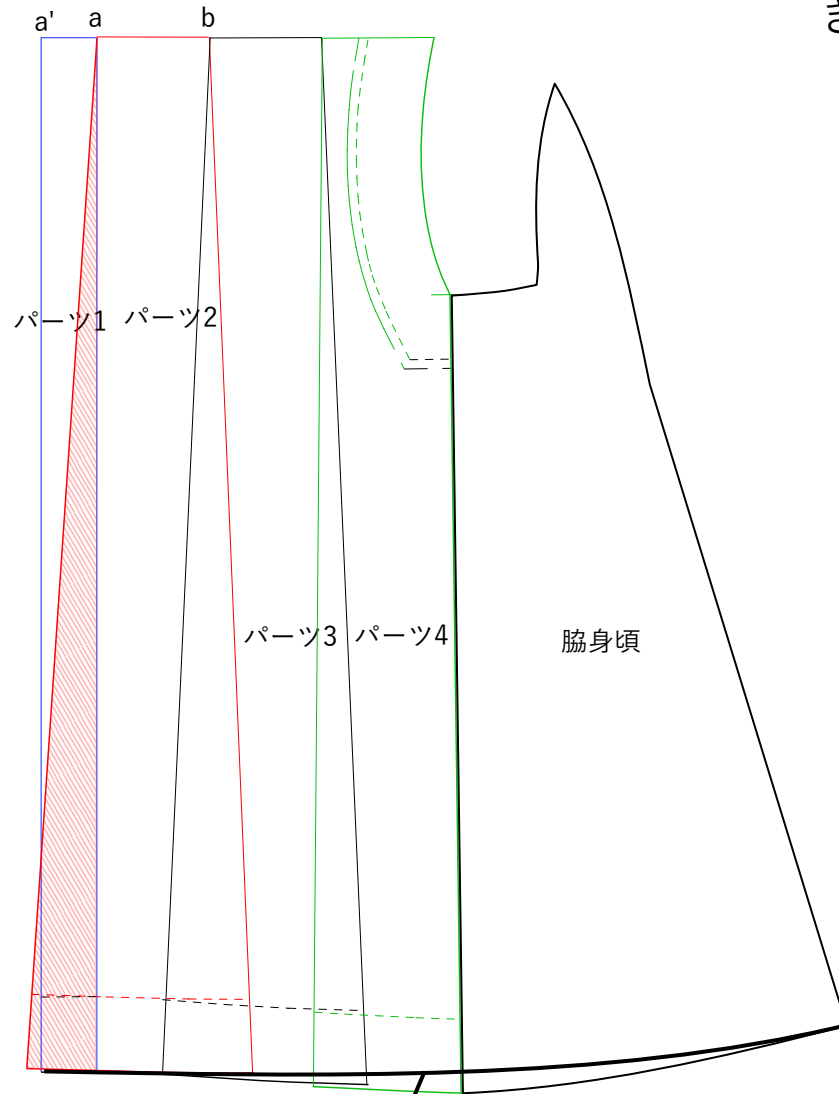
⑧回転させるとこのようになる。パターン同士が重なっている斜線部分が、本来パターンに含まれていたフレア分量なので、この斜線部分は削除する

⑨パーツ3、パーツ4も同様に、それぞれb点c点を起点に回転させてフレアを削る



型紙屋NavyPlus
トールネックオーバードレス
プリーツアレンジ案

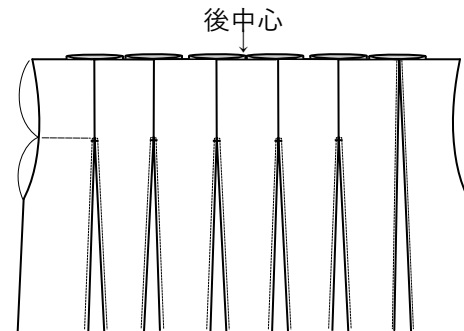
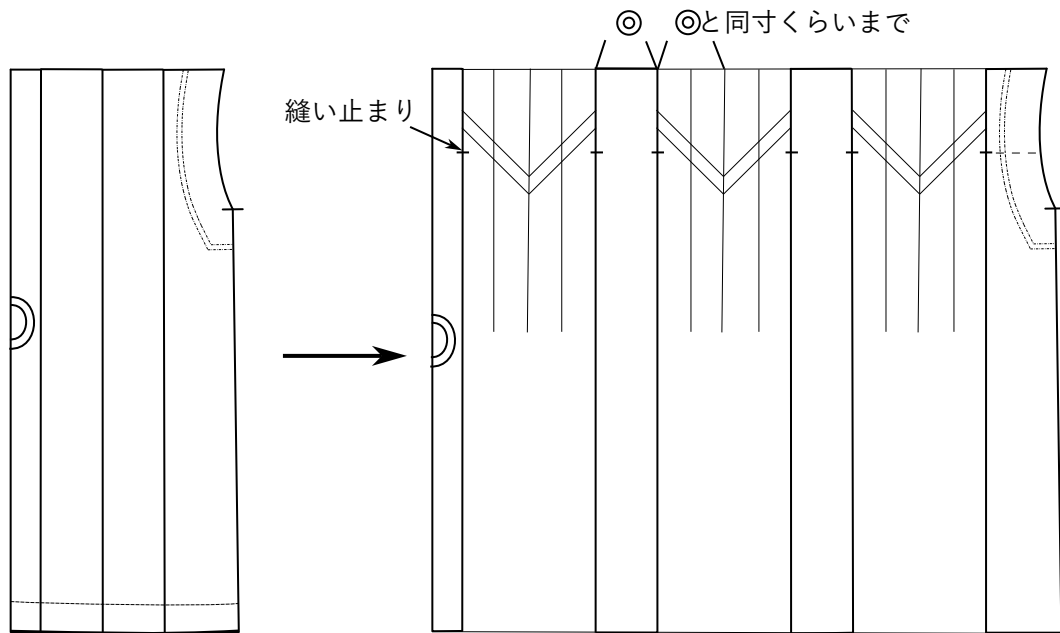
これで基本となるストレートシルエットに戻りました。このパターンをそのまま使用すると、蹴回し寸法が不足してしまうので、そのあたりを補いつつデザインアレンジを加えていきましょう



⑩脇身頃を突き合わせにして裾線をなだらかな曲線で引き直す

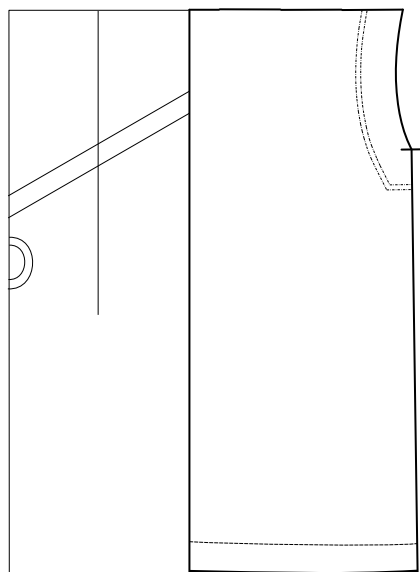
型紙屋NavyPlus
トールネックオーバードレス
プリーツアレンジ案

下図のようにインバーティドプリーツとして切り開きます。プリーツの分量は下図を参考に◎と同寸程度までにしておきましょう。これ以上増やすとプリーツ同士が重なって厚みが出てしまいます。中縫いはあっても無くても構いませんが、中縫いを入れる場合は着脱の際に必要なバスト位置のゆとり分を固定してしまわないように、袖ぐり線の中心位置くらいまでに留めておいた方が無難です。生地幅が不足して接ぎ目を入れる場合は目立たない位置に切り替えを入れましょう。



後中心にだけ大きくタックをとる場合は右図のようになります。タック分量はお好みで。

プリーツを加える場合、本数や位置は好みで決めて大丈夫です。今回は厚手もしくは固めな生地を使用する場合を想定してフレア分量を削ってからアレンジしましたが、柔らかい生地であれば元のパターンにそのままプリーツを加えても構いません。柔らかい生地であれば、折り目を付けずにソフトプリーツにしても素敵です。アイデアを絞ってアレンジを楽しんでください。



フレアアレンジ

こちらはおまけアレンジです。本来の後身頃のパターンを畳まずにそのまま切り開いてフレア分量を追加するとこのような感じになります。1ページ目の①～⑤を参照して切り開き線を入れて、a,b,c点を起点として切り開きます。切り開く分量はお好みで。

